

議案第19号 令和6年度八千代市一般会計予算に対する組替え動議

上記の動議を別紙のとおり会議規則第16条の規定により提出します。

令和6年3月18日

八千代市議会議長 林 隆文 様

提出者	八千代市議会議員	伊原 忠
賛成者	八千代市議会議員	堀口 明子
	同	飯川 英樹
	同	三田 登

提案理由

1 組替えを求める理由

新型コロナウイルスの感染拡大による暮らしへの影響が長引き、円安や消費税の引上げ等に伴う物価高騰が続く中で、賃金は上がらず、市民の生活はますます苦しくなっている。

一方、市の財政状況は、地方特例交付金や国庫支出金等の増額により前年度比約86億円の予算増となっている。また、財政調整基金残高は約32億円、公共施設等整備基金残高は約15億円となっている。

よって、財政調整基金及び公共施設等整備基金の一部を活用し、避難所となる学校体育館の空調設備整備、学校給食費の減額、高齢者の補聴器購入の助成等、市民の暮らしを守るため、以下の内容で予算の組替えを求めるものである。

2 組替えの基本方針

(1) 災害対策及び学校教育環境整備

学校体育館の空調設備整備、未配置教員の補充、学校図書の実

(2) 子育て支援

学校給食費の減額（第1子、第2子共に半額。学校給食費の増額改定に伴う保護者負担の解消を含む。）

(3) 高齢者支援

高齢者等外出支援タクシー利用助成の拡充、配食サービス費の補助、補聴器購入の助成

(4) 地域生活改善の支援

コミュニティバスの試行運行、地域図書館の実

3 組替えの内容

(1) 歳入では、財政調整基金から5億5,915万6,000円、公共施設等整備基金から3億1,500万円を取り崩す。また、学校給食費収入を4億2,000万円減額する。

(2) 基本方針について、学校体育館の空調設備整備は2か年計画とし、緊急防災・減災事業債を活用する。未配置教員の補充はスクールカウンセラー等も考慮する。学校給食費は保護者の負担を軽減し、無償化への第一歩とする。高齢者等外出支援タクシー利用助成の拡充は令和6年度から対象外となる方を救済するため、高齢者支援はいつまでも元気に暮らせるようにするために実施する。コミュニティバスの試行運行は地域公共交通計画の実践とする。

令和6年度八千代市一般会計予算に対する組替え案

歳入

(単位：千円)

費目	金額	備考
財政調整基金繰入金	559,156	
公共施設等整備基金繰入金	315,000	
学校給食費収入	△ 420,000	第1子、第2子共に半額（第3子以降は既に無償化） 学校給食費の増額改定に伴う保護者負担の解消を含む。
計	454,156	

歳出

(単位：千円)

費目	金額	備考
学校体育館の空調設備整備	315,000	緊急防災・減災事業債を活用し、2か年で計画 ※1
未配置教員の補充	22,800	会計年度任用職員として6人採用
学校図書室の図書購入	16,903	八千代市に交付される図書購入費の不足分 ※2
高齢者等外出支援タクシー利用助成の拡充	32,112	1人当たりの交付枚数を24枚から48枚に戻す。 令和6年度から対象外となる393人にも48枚交付
配食サービス費の補助	9,771	1食当たりの補助額を100円から300円に戻す。
補聴器購入の助成	6,000	助成額の上限を2万円とし、対象者を300人と想定
コミュニティバスの試行運行	48,000	1コース1,600万円として3コース分
地域図書館の図書購入	3,570	大和田図書館、八千代台図書館の図書購入費を緑が丘図書館及び勝田台図書館の平均に合わせる。 ※3
計	454,156	

※1 エアコン設置費用21億円（1校当たり7,000万円×30校）のうち緊急防災・減災事業債（7割負担）活用で6億3,000万円を2か年で計画するため、1年当たり3億1,500万円の試算となる。

※2 小学校と中学校の交付額は3,135万4,000円で、予算が1,445万1,000円措置されている。

※3 図書購入費（大和田81万円、八千代台81万円、緑が丘394万円、勝田台125万円、中央1,650万円）